

# 高雄中だより

令和元年9月24日

京都市立高雄中学校

なかま 夢 成長

未来を創造したくましく生き抜く力の育成

## 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に、本校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとめました。本調査は、国語と数学と英語に関する調査と同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

### 国語科

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、いずれの領域の解答においても、全国の平均を上回っています。日頃からの、継続的な基礎の学習がよく活きているのでしょうか。個々の問題に注目した結果の課題点は、

○「全体をきちんと読み通して判断するという読む力」が弱い点。

これは、「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを持つ」という力を問う問題の解答率だけが、全国平均を下回っていました。全体を読んで正答を選ぶ問題でしたが、最初の方だけ読んで判断してしまったことが誤答につながってしまったものと考えられます。

#### 【課題を克服するために】

○「読みやすい」「わかりやすい」「簡単」「難しくない」という内容の文章に触れる機会だけではなく、日ごろから、学年相応の文章に触れ、しっかりと読み取る機会をもつことが重要です。

### 数学科

各分野（数と式・関数・図形・資料の活用）との全国平均を上回り、非常に頑張りました。日頃の「諦めずに最後まで粘り強く考える」姿勢が結果として表れていると思います。

その中でも、これからの課題としてあげられる内容が3点あります。

○関数分野の「グラフの読み取り問題」です。長い文章を読み、さらにグラフが何を表しているのかをきちんと理解できる力が必要です。

○証明問題では筋道をたてて、答案を通して相手にきちんと伝える練習を今後もおこなっていきましょう。

○資料の活用の問題については、1年生で学習した内容で、忘れている人もいたと思います。これを機会にもう一度復習しましょう。

2学期以降の授業は、これらのこととを指導者が意識をした授業展開をしていこうと考えています。

### 英語科

正答率について、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」すべてにおいて、全国平均を上回る結果でした。問題別にみると、文法を問う問題（接続詞、一般動詞の現在形）はよくできていました。また、「日常的な話題について、簡単な文で書かれた文章の内容」は正確に読み取ることができていました。一方、「まとまりのある文章を読んで、話の内容や書き手の意見など文の大切な部分を理解する」ことに課題が残ります。また、「書かれた資料を読んで自分の意見を書くこと」や、「与えられたテーマについて自分の考えを整理してまとまりのある文章を書くこと」に対しては、全国的にも課題が残る結果となりました。今後は、授業でもまとまりのある文章を読み、内容を把握し、その内容に対する問い合わせに答える練習や、自分の意見を書く練習をしていきます。

#### 【課題を克服するために】

\*まずは、まとまりのある文章を読むことに慣れましょう。英文がどのような仕組みで書かれているかもつかめます。

\*書くことについては、英語で日記を書いてみるのもよい練習になります。

## 生徒質問紙調査から

＜学習について＞ 本校生徒の家庭学習の特徴を全国平均と比べてみると「家で自分で計画を立てて勉強していますか」という項目は、全国平均を上回り、3人に1人は3時間以上と一定の家庭での学習習慣が確立できていることがわかりました。しかし、「普段（月曜日から金曜日）に、1日あたりどれくらいの時間読書をしますか。」という項目は「30分未満」「全くしない」と答えた生徒の合計が90%以上でした。また、「新聞を読んでいますか。」という項目は、「月に1～3回程度読む」「ほとんど全く読まない」と答えた生徒の合計が90%以上でした。読書離れ・活字離れがますます進んでいることがわかりました。

＜規範意識について＞ 「規則を守る」「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」という問い合わせについては、昨年度に引き続き全国平均を上回っています。子どもたちは、自律し、人のことを考えることのできる人間に成長していくことをしていることがわかります。

＜自己有用感について＞ 「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦する」という項目は、「当てはまる」と答えた生徒が全校平均を大きく上回っていました。学校や家庭・地域でのさまざまな体験や挑戦を通して培われてきたものだと考えます。

＜地域への関心や参画＞ 「今住んでいる地域行事に参加していますか」等の地域に関する項目は全国平均を上回っています。地域行事への参加や貢献によって、次世代を担う中学生の地域のことを考える素地が育まれているようです。

## 全体を通した本校の課題と成果

本校では、「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という京都市の基本理念のもと、学校教育目標として「未来を創造したくましく生き抜く力の育成」を掲げ、教育活動を展開しています。学力向上の取組に関しては、高雄小学校と全校調査やジョイントプログラム等の学力情報を共有して、日々の指導方法の改善や、個に合った指導に努めています。生徒も、日頃の学習に対して感心・意欲を持って取り組み、学校行事や地域行事等にも積極的に参加し、良い雰囲気のもとで頑張っています。

今回の調査では、安定した生活習慣のもと家庭学習に取り組み、規範意識もあり、よりよく成長している子どもたちの姿が明らかになりました。その結果として自己有用感をしっかりと持ち、困難状況にも積極果敢に取り組もうとする姿勢も見ることができました。また、集団のなかで自分の考えを説明したり、相手に伝わるように資料や文章・その構成を工夫する力も育ってきていることが見てとれました。一方で読書に関する実態は、「読書は好きですか」という項目で明確に好きと答えている生徒が全国平均よりも多い割に、本に触れる時間が短いことが懸念として見えました。「朝読書」に取り組んだり、学級文庫や図書室の書架の充実を進めることで習慣化してゆきたいと思います。授業でもこれまで以上に自分の考えをまとめ発表したり、人の意見を聞いて考えを深めたりする場を増やしていますが、さらに文章や事象をしっかりと理解し、相手に伝わるように説明できる力を身に付けるように努力していくかなければなりませんと考えています。一方、キャリア教育として、将来展望を持てるように様々な体験や取組を実施しています、自信をもって社会に巣立っていくことに繋がるような取組の充実を図っていきたいと考えています。

## 保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばし、課題を解決していくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものではありません。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今後とも、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力ををお願いいたします。